

# 瀬戸内寂聴さん 99年の軌跡を辿る メモリアルブック

『書いた、愛した、祈った—— ありがとう、瀬戸内寂聴さん』 7/27 発売

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)は、2021年11月に逝去された、作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんのメモリアルブック『書いた、愛した、祈った—— ありがとう、瀬戸内寂聴さん』を、2022年7月27日(水)に発売します。

本書は、「書いた」「愛した」「祈った」という三章で構成。作家として、愛の人として、宗教家として圧倒的な存在感を放った寂聴さんの「等身大の姿」に迫ります。バイオグラフィーや作品ガイド、秘蔵写真、親交のあった著名人へのインタビュー、法話などで語られたメッセージなどを通して、波乱万丈の生涯を見つめ直す一冊です。

## CONTENTS

### 【巻頭インタビュー】 私が愛した寂聴さん

親交のあった下重暁子さん(作家)、平野啓一郎さん(小説家)、瀬尾まなほさん(秘書)へのインタビューを収録。「ありのままの寂聴さん」像に迫ります。

### 【第一章】 書いた

「書けなくなったら、死んだほうがまし」と語り、最期までペンを手放そうとしなかった寂聴さん。幼少期から99歳までの人生を辿るバイオグラフィー、文学作品のガイドとともに、「表現せずにはいられない」作家としての“業”に身を投じたその生涯に迫ります。

### 【第二章】 愛した

時に激しく、時に穏やかな愛にあふれた生涯を過ごした寂聴さん。亡くなる2年前には「愛するために生まれてきて、愛するために生きている」と、人間が生きる意味について語っていました。そんな寂聴さんが愛した人々、文学作品、場所などをクローズアップします。

### 【第三章】 祈った

表現者として魂を削るように言葉を紡いできた寂聴さんは、51歳のときに出家。以降、仏教者として多くの人々を励まし、導いてきました。「あらゆることは仏さんにお任せ」したことで心の自由を手に入れた寂聴さんによる、心に響くメッセージや、お悩み相談を集めました。



『書いた、愛した、祈った—— ありがとう、瀬戸内寂聴さん』  
定価:990円(税込) / 発売日:2022年7月27日

寂聴さんが遺した  
「珠玉のメッセージ」も収録!  
(第三章から一部抜粋)

#### ■生きづらいあなたへ

幸せはニコニコした顔が好きなの。  
だから、なんでもいいからニコニコしましょう  
「純元気法話一」より

#### ■生きること、死ぬこと

自分は許されて生きているということに  
気づいてください

「いのちの説法第三話」より



少女時代、文壇デビュー、  
得度式ほか  
秘蔵写真を多数掲載

